

## やっちょる呉委員会

委員長 渡邊 聡

〔スローガン〕

### 魅力再構築

〔基本方針〕

「うあ！ アイツやっちょる！」いい事でも悪い事でも、思いもよらない事をしてかした時に使う呉弁である。企業人であり、JCマンである私達がこの言葉を市民から言われ

る時は、呉市に何かインパクトのある事を成し遂げた時ではないだろうか。

我々の故郷呉市は、造船で始まり自衛隊、清盛、海猿のロケ地等、魅力的な観光資源が溢れ、大和ミュージアムのオープンの甲斐もあり年間300万人以上の観光客が訪れている。しかし、観光客は大和ミュージアム観覧後、市外の観光地へと向かい、俗にいう通過型観光となってしまっている。

広島県では「おいしい！広島県」「泣ける！広島県」「カンパイ！広島県」と今までにない手法を行政が仕掛け大変話題となり、それを発端に全国各地で「文の里商店街」や「伊丹西台地区」のポスター展、で予想外なキャッチコピーやデザイン手法で、地方創生をテーマに無名の商店街を世に知らしめた。

そして、話題となった商店街はどんなところだろう、そのポスターが貼ってあるお店は何処だ？と、日本中からたくさんの観光客が訪れている。

どんなに面白おかしく表現している内容でもそこに真剣とプライドを持ち、本気で発信していく事により、既存の観光資源がより一層輝くことを証明した。

そこで当委員会は、呉市の魅力あふれる観光資源にスパイスを加え、新たな手法などを用いて、脱コモディティ化戦略から滞在型観光のきっかけとなる事業を考えたい。そういった手法を市民、企業が実践できれば、それこそが新たな魅力となり、呉市に観光客が目的を持って呉市内へと向かうのではないだろうか。

今年度創立64年の呉青年会議所の偉大なる先人達が残した信用と英知を用いて呉JCの委員長として活動が出来る。こんなありがたいことはない。単年で終わるのではなく、これからも生きつづけるシステムを作り出し何年か先にまち全体が魅力となれば、その時初めて「呉JCやっちょる！」と言われるのである。

〔事業計画〕

1. 事業名：2月例会  
目的：当委員会の年間基本方針の周知を図る  
方法：プレゼンテーション等
  
2. 事業名：4月例会  
目的：呉市の現状を把握し、これから魅力ある観光を作り出す手法を考える  
方法：プレゼンテーション等
  
3. 事業名：やっちよる呉創造事業（仮称）  
目的：新たな手法で呉市の魅力を作り出す  
方法：体感型事業の実施
  
4. その他